

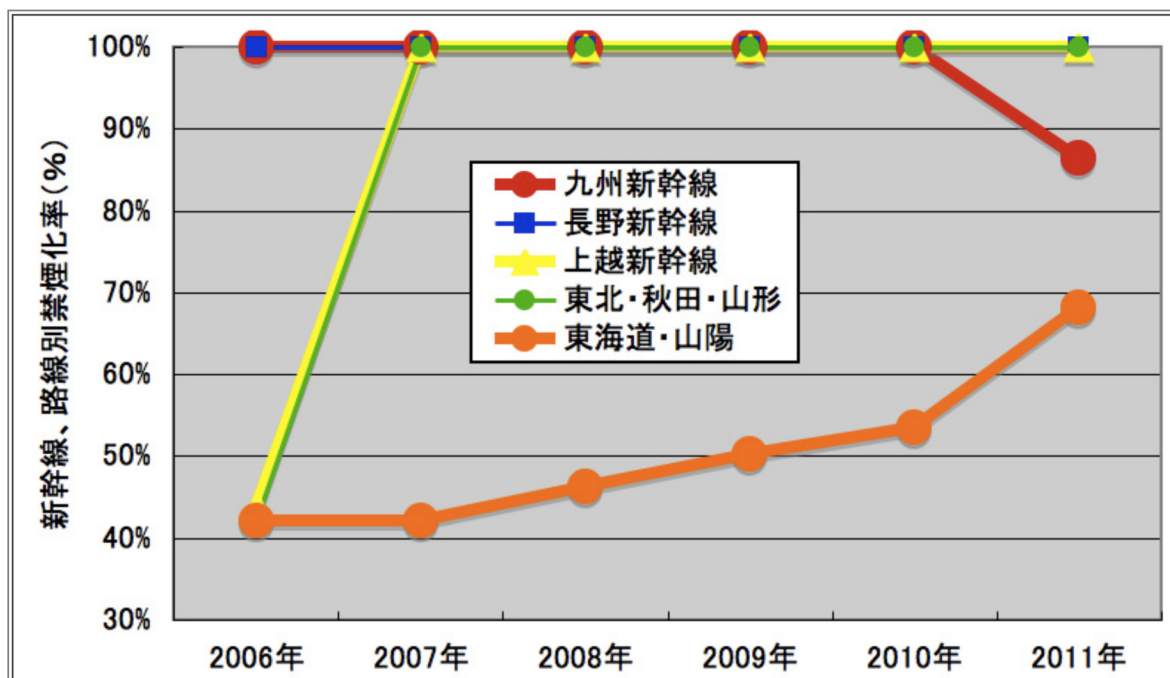


厚生労働科学研究費補助金 循環器疾患等生活習慣病対策総合研究事業 H20～H22
わが国の今後の喫煙対策と受動喫煙対策の方向性とその推進に関する研究
(H17～H19 受動喫煙対策にかかわる社会環境整備についての研究)

2011年3月12日更新

資料4-1

新幹線禁煙化率 (=受動喫煙のない車両/全車両)



新幹線各路線別の禁煙化率（受動喫煙のない清浄な空気の車両の割合）を示します。

2004年 3月：九州新幹線「つばめ」は開業から全車両禁煙

2005年12月：長野新幹線「あさま」が全車両禁煙化

2006年 3月：東海道・山陽新幹線で16両編成の4号車が全車両禁煙化

2007年 3月：上越、東北・秋田・山形新幹線が全車両禁煙化

喫煙車両が走るのは東海道・山陽新幹線のみとなった

2007年 7月：のぞみN700型が運行開始。全席禁煙とし、4カ所に6個の喫煙室を設置

「煙が漏れない」という触れ込みであったが、煙の漏れを確認

東北新幹線のように、全面禁煙とすることが望まれる

2008年11月：山陽新幹線、喫煙車両のあった「こだま」を廃し、全席禁煙（喫煙室あり）の500系こだまを運行

2011年 3月：東海道・山陽新幹線で16両編成の「のぞみ」「ひかり」「こだま」の3号車が禁煙化

山陽新幹線で「ひかりレールスター」の2号車が禁煙化

喫煙室のある「みずほ」「さくら」の運行開始により、九州新幹線の禁煙化率が悪化

東北新幹線「はやぶさ」は全面禁煙であり、禁煙化率は100%のまま

1) のぞみN700型、喫煙室からのタバコ煙の漏れ New!